

アドアーズ株式会社  
2016年3月期 第2四半期決算説明会  
2015年11月17日(火)



JASDAQ : 4712

This program is brought to you by Corporate planning division

# 目次

---

1	： 2016年3月期 第2四半期業績報告 . . . . .	P4
2	： 2016年3月期 第2四半期セグメント別業績報告 . . . . .	P9
3	： 成長戦略の進捗報告 . . . . .	P21
4	： 代表者メッセージ . . . . .	P27

## 1-1 : 2016年3月期 第2四半期ハイライト

---

### ◆ 総合エンターテインメント事業

- ・日本初のイベント開催など、既存店舗における各種集客施策の強化  
(新会員システムの稼働、大手ポータルサイト連動クーポン、“メダルゲーム日本一決定戦[メダワン]”)
- ・業態転換による、新店開設  
(ぴよんぴよん南砂町ショッピングセンターSUNAMO店、BULLET FIELD八王子Base店)
- ・カラオケ及びカフェ店舗におけるコラボ企画の積極的な実施  
(前期累計25件の実施に対し、当第2四半期末時点で累計21件実施)

### ◆ 不動産事業

- ・横浜支店開設以降の販売エリア拡大
- ・年間を通して、順調な一戸建不動産の販売と一部保有不動産の売却

### ◆ その他トピック

- ・セグメント名の変更  
(アミューズメント事業から「総合エンターテインメント事業」、商業建築事業から「商業施設建築事業」へ)
- ・株式会社日本介護福祉グループの株式譲渡に伴う介護事業の休止  
(介護事業休止、特別損失の計上、代表取締役社長の異動)

## 1-2 : 2016年3月期 第2四半期業績報告(連結PL)

(単位:百万円)

	2015年3月期 2Q (実績)	2016年3月期 2Q (実績)	前期差 (百万円)	前期比 (%)
売上高	11,782	11,158	△624	△5.3%
営業利益	712	348	△364	△51.0%
経常利益	653	304	△349	△53.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	567	△429	△996	—%

### ◆ 減収要因

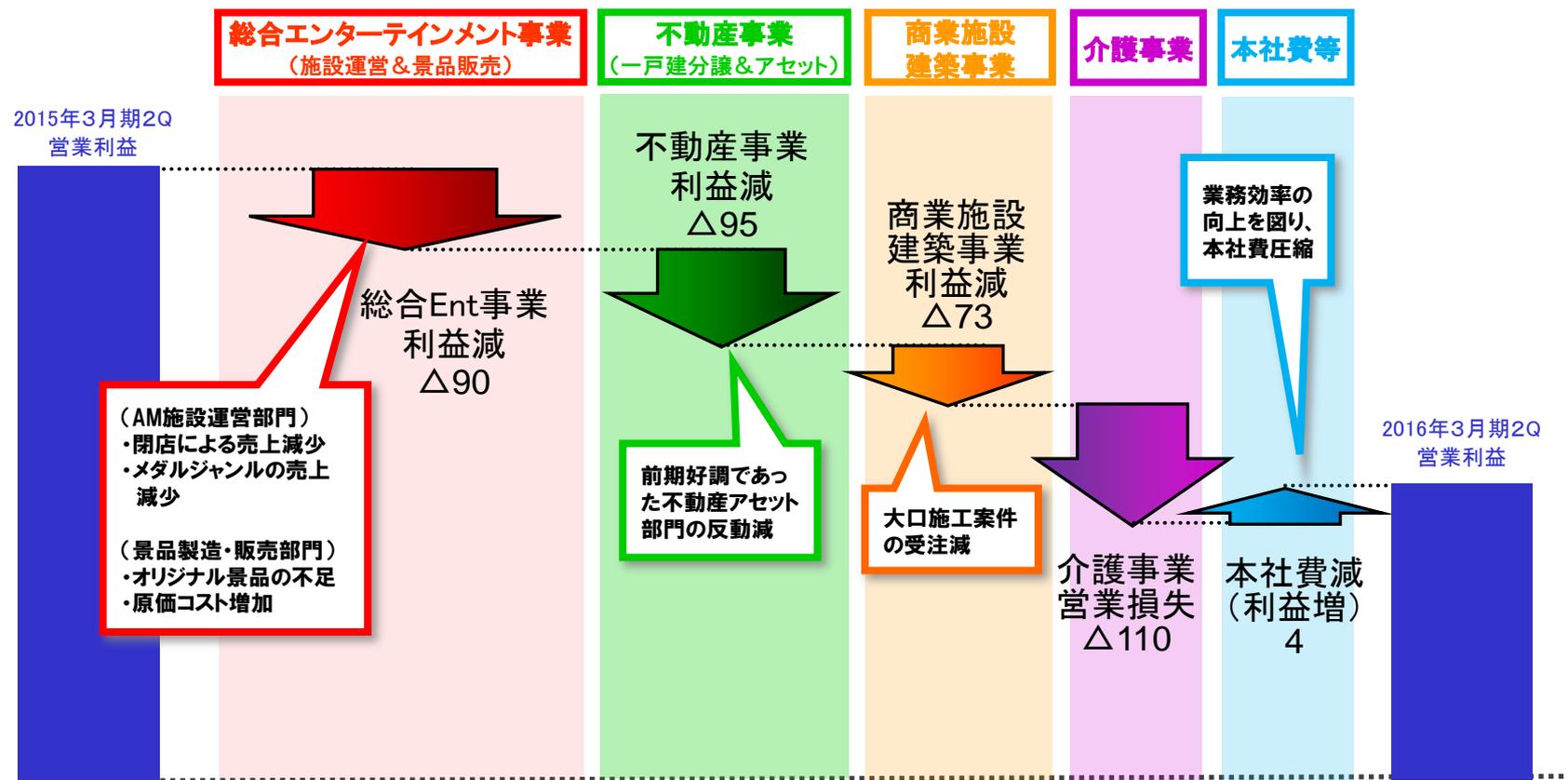
- ・介護事業休止までの実績を計上するも、その他セグメントで減収
- ・前期比で不動産事業と商業施設建築事業の反動減が影響

### ◆ 減益要因

- ・各セグメントの減収による影響
- ・介護事業の株式譲渡に伴う特別損失の計上

# 1-3 : 利益分析① 営業利益分析

(単位:百万円)



**712**  
2015年3月期2Q実績

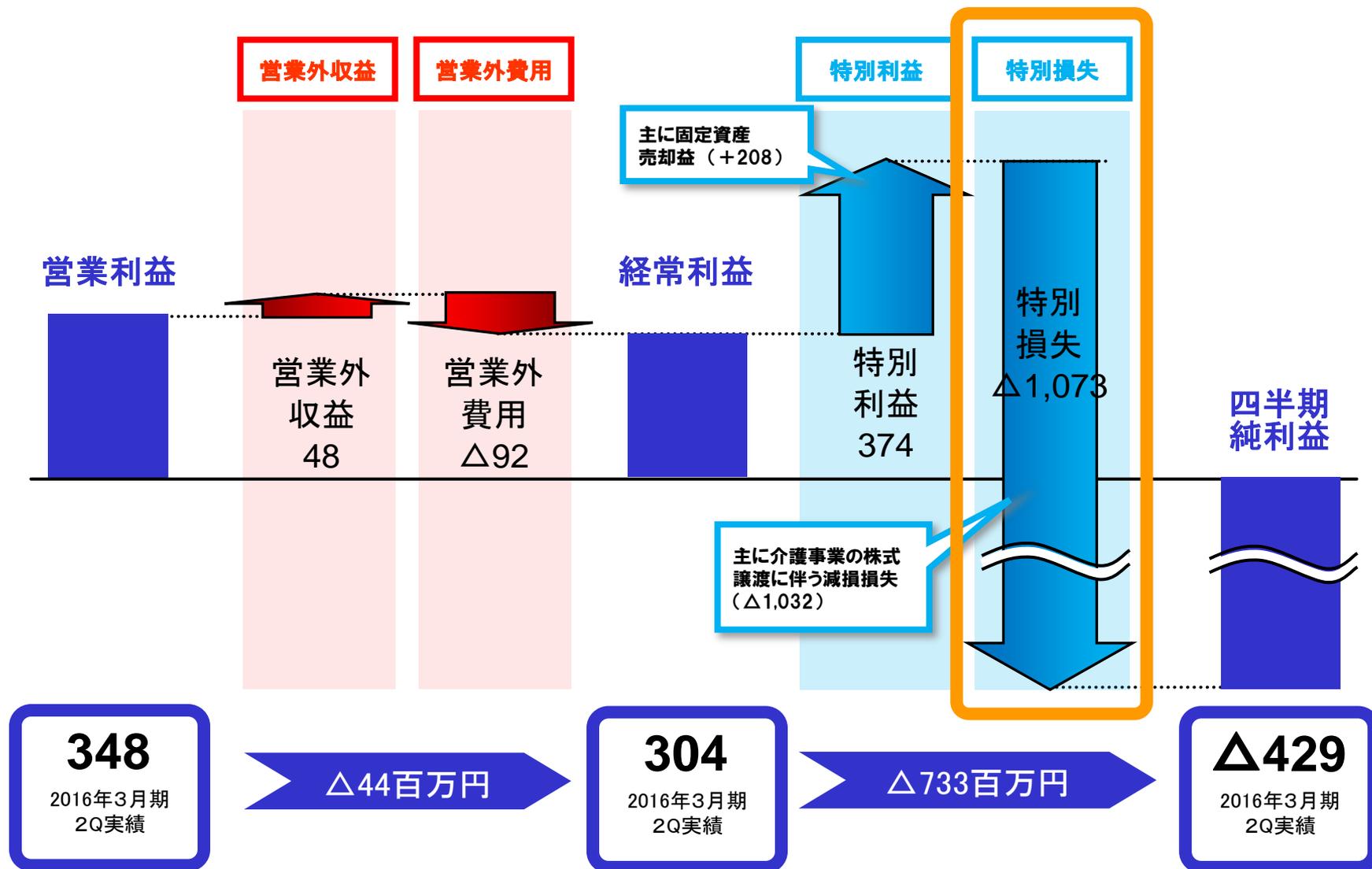
**$\Delta 364$ 百万円**

**348**  
2016年3月期2Q実績

※本資料内では“アミューズメント”を“AM”と略します。

# 1-4 : 利益分析② 営業利益～当期純損失

(単位:百万円)



# 1-5 : 貸借対照表(連結BS)

(単位:百万円)

資産の部		
	2015年3月期 (連結)	2016年3月期 2Q (連結)
<b>流動資産</b>	<b>9,642</b>	<b>9,307</b>
(現金及び預金)	4,436	4,369
(その他)	5,205	4,938
<b>固定資産</b>	<b>14,341</b>	<b>11,348</b>
(有形固定資産)	5,421	3,805
(無形固定資産)	2,092	1,123
(投資その他資産)	6,827	6,420
<b>資産合計</b>	<b>23,984</b>	<b>20,655</b>

負債の部		
	2015年3月期 (連結)	2016年3月期 2Q (連結)
<b>流動負債</b>	<b>6,376</b>	<b>5,587</b>
<b>固定負債</b>	<b>6,159</b>	<b>4,575</b>
<b>負債合計</b>	<b>12,535</b>	<b>10,162</b>
純資産の部		
<b>株主資本</b>	<b>11,145</b>	<b>10,437</b>
その他の包括利益 累計額少数株主持	303	55
<b>純資産合計</b>	<b>11,448</b>	<b>10,493</b>
負債純資産合計		
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,984</b>	<b>20,655</b>

- ① 保有不動産の売却に伴う有形固定資産の減少
- ② 介護事業休止に伴うのれん等の減少
- ③ 日本介護福祉グループのグループアウトによる減少

# 1-6 : キャッシュフロー（連結CF）

（単位：百万円）

	2015年3月期 2Q (連結)	2016年3月期 2Q (連結)	
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>2,789</b>	<b>298</b>	
税前当期利益又は純損失	629	△393	・事業収益減
減価償却費	652	563	・AM店舗閉店に伴う機器売却
売上債権の増減(△は増加)	△28	△45	
たな卸資産の増減(△は増加)	850	△410	・販売用不動産の仕入れ
仕入債権の増減(△は減少)	△328	△287	
その他	1,014	870	
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>△2,201</b>	<b>477</b>	・保有不動産の売却
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>134</b>	<b>△802</b>	・返済進行に伴う有利子負債圧縮
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>3,567</b>	<b>3,764</b>	

## 2 : 2016年3月期 第2四半期セグメント別業績報告



## 2-1 : セグメント別業績 総合エンターテインメント事業

(単位:百万円)

### 総合エンターテインメント事業 業績

	2015年3月期 2Q (連結)	2016年3月期 2Q (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	7,725	7,580	△145	△1.9%
セグメント利益	582	492	△90	△15.5%

#### ◆ 減収要因

- ・店舗数が減ったことによる売上の減少
- ・外的要因による既存AM店舗の落ち込み (既存店前年比97.9%)

#### ◆ 減益要因

- ・収益率の高いメダルゲームジャンルの売上減少
- ・景品の製造販売部門におけるヒット商品の不在や、円安進行による原価コストの増加

## 2-2 : セグメント別業績 総合エンターテインメント事業(部門別)

(単位:百万円)

### アミューズメント施設運営部門 業績

	2015年3月期 2Q (連結)	2016年3月期 2Q (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	6,701	6,559	△142	△2.1%
部門別総利益	522	455	△67	△12.8%

→ 店舗の閉店や外的要因等による減収、クレーンゲームジャンル好調の一方、メダルジャンルの売上減少による収益の圧縮

### 景品製造・販売部門 業績

	2015年3月期 2Q (連結)	2016年3月期 2Q (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	1,391	1,395	4	+0.2%
部門別総利益	254	214	△40	△15.7%

→ クレーンゲームジャンルの好調により売上は増加したものの、ヒット商品の不在、円安進行の影響による原価高騰により減益

## 2-3 : 既存AM店舗関連の施策

# 新たな顧客層開拓による収益拡大に向けた取り組み

### ◆ 業界初の賞金付きメダルゲーム大会の開催

収益力の高いメダルゲームジャンルの活性化を目的として、業界初となる賞金付きメダルゲーム大会「メダルゲーム日本一決定戦(通称:メダワン)」を開催



### ◆ 積極的な業態転換による新店の開設

既存店舗の一部フロアにおいて、既存のゲームジャンルに捉われない業態転換により、キッズ向け遊戯施設「ぴよんぴよん南砂町ショッピングセンターSUNAMO店」や、インドアサバイバルゲーム場「BULLET FIELD八王子Base店」開設



## 2-4 : コンテンツ関連の施策

### コラボレーション企画の強化・発展

#### ◆ 人気コンテンツとのリレーション強化

アニメーション作品を中心に、多数の人気コンテンツとのコラボ企画を実施。実績を重ねることで、同一のコンテンツによる複数開催や、カラオケ・カフェへの複合的な展開。

#### ◆ 描き下ろしイラストを用いた集客力の強化

アニメーションコンテンツ等における“描き下ろし※”イラストを用いたノベルティや物販品の制作が可能となったことによる集客力の強化。

※描き下ろし = 特定の商品やイベントのためだけに描かれる、作品本編では未公表のキャラクターや情景のイラスト等を指す。



## 2-5 : ジャンル別業績

(単位:百万円)

### アミューズメント施設運営部門 過去5ヵ年既存店前年比推移 (アドアーズ店舗のみ、ブレイク店舗含まず)

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期2Q
既存店前年比(%)	99.1%	92.4%	96.3%	95.1%	98.1%
期末既存店舗数※	66	64	54	53	48
期末総店舗数	66	65	56	55	50

※開店から13ヵ月以上経過した店舗を「既存店」としております。

### アミューズメント施設運営部門 ゲームジャンル別実績 前年比 (アドアーズ店舗のみ、ブレイク運営店舗含まず)

ジャンル別売上高	2015年3月期2Q	構成比	2016年3月期2Q	構成比	前期差	増減率	既存店前年比
メダルゲーム計	2,694	40.4%	2,347	35.8%	△347	△12.8%	90.7%
メダルゲーム	2,206	33.1%	1,945	29.7%	△261	△11.8%	91.9%
パチンコ・パチスロ機	487	7.3%	402	6.1%	△85	△17.5%	85.5%
クレーンゲーム	1,764	26.4%	1,887	28.8%	123	7.0%	104.2%
プリクラ	219	3.3%	158	2.4%	△61	△27.8%	91.0%
アーケードゲーム	1,487	22.3%	1,345	20.6%	△142	△9.5%	93.4%
その他(コンテンツ関連含む)	510	7.6%	808	12.3%	298	58.4%	138.9%
合計	6,673	100.0%	6,545	100.0%	△128	△1.9%	98.1%

## 2-6 : セグメント別業績 不動産事業

(単位:百万円)

### 不動産事業 業績

	2015年3月期 2Q (連結)	2016年3月期 2Q (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	3,481	2,877	△604	△17.3%
セグメント利益	364	269	△94	△26.0%

#### ◆ 減収要因

- ・前期好調であった不動産アセット部門における保有不動産売却等の大口案件の不在による反動減

#### ◆ 減益要因

- ・増税の駆け込み需要に影響され、前年同期比では減益
- ・市況の影響による建築コストの増加

## 2-7 : セグメント別業績 不動産事業(部門別)

(単位:百万円)

### 一戸建分譲部門等 業績

	2015年3月期2Q (連結)	2016年3月期2Q (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	2,295	2,345	50	+ 2.2%
部門別総利益	416	338	△77	△18.8%

→ 土地の仕入れ競争激化の中で、横浜支店の開設により事業エリアを拡大を図ることで前年同期並みの売上高を確保、市況の影響を受けたコスト増等により減益

### 不動産アセット部門等 業績

	2015年3月期2Q (連結)	2016年3月期2Q (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	1,186	533	△653	△55.0%
部門別総利益	183	187	4	+ 2.2%

→ 前年にあった大口の売却案件がなかった反動減により、売上高で前年同期には至らないものの、保有不動産の安定した賃料収入等により増益

## 2-8 : セグメント別業績 商業施設建築事業

(単位:百万円)

### 商業施設建築事業 業績

	2015年3月期 2Q (連結)	2016年3月期 2Q (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	636	147	△489	△76.8%
セグメント利益	35	△38	△73	—%

#### ◆ 減収要因

- ・設計案件は安定して受注獲得するも、大口の施工案件の受注の減少により減収

#### ◆ 減益要因

- ・パチンコホールやカラオケ等、利益率の高い大口の施工案件を受注できず、軟調に推移

## 2-9 : セグメント別業績 介護事業

(単位:百万円)

### 介護事業 業績

	2015年3月期 2Q (連結)	2016年3月期 2Q (連結)	前期差	前期比
	実績	実績	(百万円)	(%)
売上高	—	608	—	—%
セグメント利益	—	△110	—	—%

※介護事業は、日本介護福祉グループの業績を2015年1月から取り込んでいるため、前期比較はありません。

### ◆ 日本介護福祉グループの全株式の譲渡に伴い 介護事業を休止

## 2-10 : 2016年3月期 通期業績予想

(単位:百万円)

2015年8月11日付け「連結業績予想の修正に関するお知らせ」

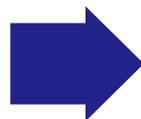
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	600	500	300	2.15
<b>修正値(B)</b>	<b>22,000</b>	<b>800</b>	<b>700</b>	<b>△110</b>	<b>△0.79</b>
増減額(B-A)	△3,000	200	200	△410	△2.94
増減率(%)	△12.0%	33.3%	40.0%	—	—
(ご参考)前期実績 2015年3月期	23,399	664	551	461	3.31

## 2-11 : 中期経営計画

### ◆Vision

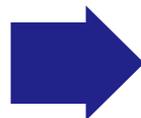
➡ 「面白さと楽しさと安心を提供し続ける  
企業グループを目指します」

### ◆数値目標 (3年後)



売上高	330億円
経常利益	14億円
ROE	8%

### ◆直近の動き



- ・総合エンターテインメント事業、不動産事業  
双方の収益規模の拡大に向けた業容の拡大
- ・介護事業に代わる新たな事業の確立

### 3 : 成長戦略の進捗報告



# 3-1 : 総合エンターテインメント事業①

## 業態転換によるコラボレーション企画店舗の全国展開



### ◆ 既存店舗の業態転換による首都圏外への新規開設

2015年3月  
期末時点  
店舗数

4店

2016年3月期  
末時点(予定)

6店

### ◆ コラボ企画実施件数の安定化 (複数店舗によるイベントの同時開催が可能)

2015年3月  
期末時点  
実施件数

25件/1年

2016年3月期  
2Q末時点

21件/6カ月

## 3-2 : 総合エンターテインメント事業②

# 新たな販路と市場開拓による収益規模の拡大

- ◆ アミューズメント景品以外の商品企画販売(物販)と、海外向け商品販売の拡充 (ブレイク)

今期より開始した、既存ノウハウを活かした物販の製造企画販売を強化

- ◆ アミューズメント店舗の海外進出の検討 (アドアーズ)

今後のアドアーズ店舗の海外出店に向けた動きとして役職員を現地に派遣し、情報収集及び視察を実施



### 3-3 : 総合エンターテインメント事業③

## 既存ゲーム店舗における顧客層の拡大と活性化

#### ◆ 訪日観光客を取り込むインバウンド施策の実施

- ・訪日観光客に人気の渋谷・池袋・秋葉原などの都内エリアにおける近隣宿泊施設等へのクロスクーポン配布
- ・中国人向けエリアマップへの店舗情報掲載等



#### ◆ シニア顧客に向けた各種サービス展開と環境整備

- ・全メダル導入店舗におけるスタンプカード企画
- ・シニア世代の同伴、あるいはお孫様同伴でメダルサービス
- ・ブランケットの貸出し等



## 3-4 : 不動産事業①

# 一戸建分譲部門の事業規模拡大

### ◆ 事業エリア及び引渡し物件数の拡大

- ・前事業年度に開設した横浜支店の営業開始に伴い、事業エリアを拡大
- ・前事業年度に引渡しした85件(1年間)に続き、当第2四半期末時点で52件(6カ月)の実績



### ◆ 顧客のライフスタイルに応じた家づくり実現のための設備環境 (ショールーム)



※画像はイメージです。

### 大型プロジェクトの推進

- ◆ 関西における大型分譲住宅プロジェクトの推進



### 大口商業施設案件の受注

- ◆ デザイン力や提案力を活かし、下期以降収益に寄与する大口の設計・施工案件の受注に向けて進行中



※画像はイメージです。

## 4 : 代表者メッセージ



## 4-1 : 代表者メッセージ①

---

### ◆ **基本に立ち返り** – Returning back to the basis –

---

人を楽しませるエンターテインメントの基本精神に立ち返ることで、  
新たな展開を図りつつ、既存3事業の着実な拡大を目指す

### ◆ **シンプルに分かりやすく** – Simplify and clarify –

---

情報発信の手段をシンプル且つ明確にし、企業の顔である代表の意思を  
あらゆるステークホルダーに届けられる体制を作る

### ◆ **積極的に** – Aggressively –

---

M&A等を通して新たな柱となる事業やサービスを積極的且つ、確実に立ち上げることで  
アドアーズグループの成長路線を描く

## 4-2 : 代表者メッセージ②

新たな収益の柱の  
確立に向けた

「**新規事業  
確立**」

**企業価値  
の向上**

総合エンター  
テインメント事業における

「**業態転換**」  
「**国内外展開**」

積極的な情報発信・  
コミュニケーションによる

「**株主重視の  
経営推進**」

## 4-3 : 株主還元

	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (予想)
配当/1株あたり	2.0円	2.0円	2.0円
配当性向	29.5%	60.4%	—%
EPS (1株当たり当期純利益率)	6.7円	3.3円	△0.79円

今後についても、株主の皆様へ安定的かつ  
継続的な配当を目指してまいります。

# 參考資料



# アドアーズ会社概要

## 会社概要

(2015年9月末時点)

### アドアーズ株式会社

所在地:東京都 港区 虎ノ門 1丁目7番12号 虎ノ門ファーストガーデン

資本金:44億5百万円

発行済み株式総数:139,259,092株

従業員数 : アドアーズグループ全体 :307名(社員)／881名(アルバイト)

アドアーズ単体 :214名(社員)／860名(アルバイト)

東京証券取引所 JASDAQスタンダード  
証券コード:4712 (J-stock)

## 親会社

### Jトラスト株式会社

東京証券取引所 市場第2部  
証券コード:8508 (持株比率42.91%)

## 子会社

### キーノート株式会社

<http://www.key-note.jp/>

### 株式会社ブレイク

<http://www.s-break.jp/>

## 事業ドメイン



# 大株主の状況

※2016年3月期 第2四半期末時点状況

株主名	所有株式数	持株比率
Jトラスト株式会社	59,755,500	42.91%
GF投資ファンド投資事業有限責任組合	40,825,000	29.32%
鈴木 高 幸	4,364,996	3.13%
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	3,420,000	2.45%
岡 田 浩 明	1,212,000	0.87%
星 久	545,848	0.39%
アドアーズ株式会社 従業員持株会	514,930	0.36%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	504,000	0.36%
カブドットコム証券株式会社	487,000	0.34%
日本証券金融株式会社	483,000	0.34%

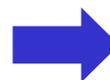
※持株比率は、当社が実質的に所有している自己株式を控除して計算しております。(少数第2位未満は切り捨て)

# 5カ年業績(PL)

(単位:百万円)

PL過去5カ年推移 (2013年3月期以降、連結)

	2012年3月期 2Q (単体)	2013年3月期 2Q (単体)	2014年3月期 2Q (連結)	2015年3月期 2Q (連結)	2016年3月期 2Q (連結)
<b>売上高</b>	<b>12,276</b>	<b>9,667</b>	<b>11,354</b>	<b>11,782</b>	<b>11,158</b>
売上原価	10,375	8,262	9,293	9,852	9,407
売上総利益	1,901	1,404	2,061	1,930	1,750
販売費及び一般管理費	1,057	1,006	1,265	1,217	1,401
<b>営業利益</b>	<b>843</b>	<b>397</b>	<b>795</b>	<b>712</b>	<b>348</b>
営業外収益	52	57	71	34	48
営業外費用	113	84	139	93	92
<b>経常利益</b>	<b>782</b>	<b>370</b>	<b>727</b>	<b>653</b>	<b>304</b>
特別利益	222	115	112	2	374
特別損失	108	70	91	25	1,073
税金等調整前当期純利益	896	415	748	629	△393
法人税等合計	22	20	25	61	35
<b>当期純利益</b>	<b>873</b>	<b>395</b>	<b>723</b>	<b>567</b>	<b>△429</b>



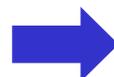
2013年3月期末時点より連結  
※2013年3月より連結

# 5カ年業績(BS)

(単位:百万円)

## BS過去5カ年推移 (2013年3月期以降、連結)

	2012年3月期 (単体)	2013年3月期 (連結)	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	2016年3月期 2Q(連結)
流動資産	5,434	7,121	7,732	9,642	9,307
固定資産	14,420	13,561	12,895	14,341	11,348
<b>資産合計</b>	<b>19,855</b>	<b>20,683</b>	<b>20,628</b>	<b>23,984</b>	<b>20,655</b>
1年内償還予定の社債	212	—	—	120	60
短期借入金	1,207	662	971	1,602	2,015
1年内返済予定の長期借入金	3,815	1,147	1,345	2,007	1,740
流動負債	9,363	5,073	4,687	6,376	5,587
社債	200	—	—	320	180
長期借入金	334	4,319	3,906	4,667	3,323
固定負債	1,174	5,448	4,973	6,159	4,575
<b>負債合計</b>	<b>10,538</b>	<b>10,521</b>	<b>9,660</b>	<b>12,535</b>	<b>10,162</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,316</b>	<b>10,162</b>	<b>10,967</b>	<b>11,448</b>	<b>10,493</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,855</b>	<b>20,683</b>	<b>20,628</b>	<b>23,984</b>	<b>20,655</b>



2013年3月期末時点より連結

# 主な指標の推移

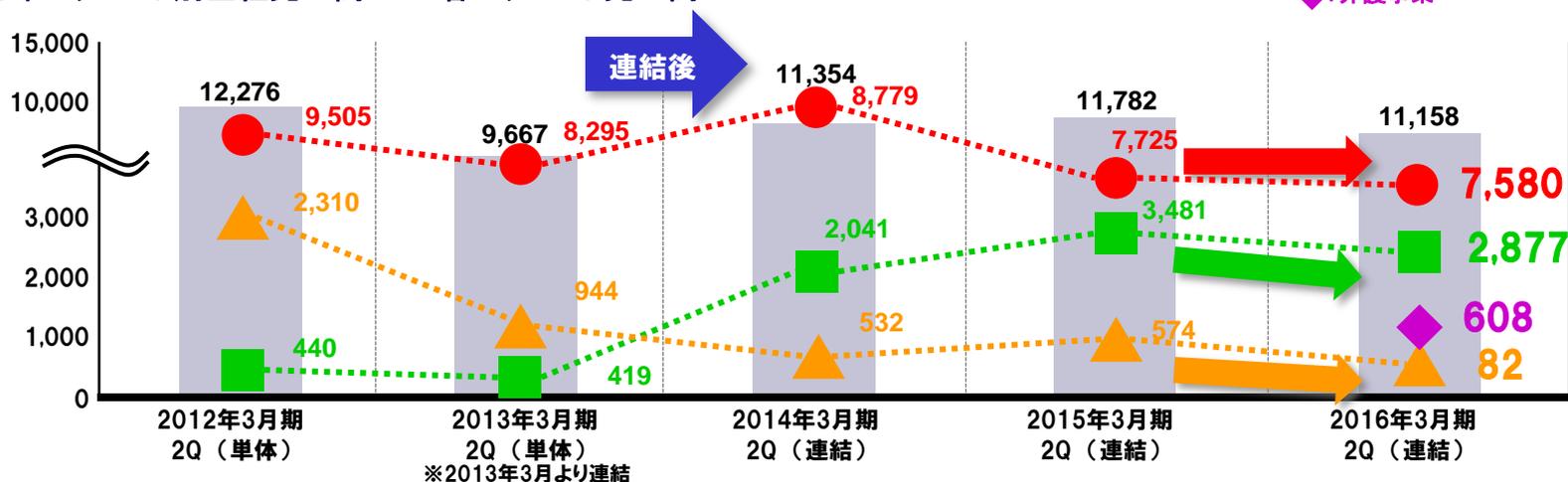
	2012年3月期 (単体)	2013年3月期 (連結)	2014年3月期 (連結)	2015年3月期 (連結)	2016年3月期2Q (連結)
ROE (自己資本当期純利益率)	10.9%	1.6%	8.9%	4.1%	△4.1%
EPS (1株当たり当期純利益)	7.94円	1.36円	6.78円	3.31円	△3.08円
ROA 総資本当期純利益率	4.1%	0.8%	4.6%	1.9%	△2.07%

# 過去業績(セグメント別売上高/セグメント利益)

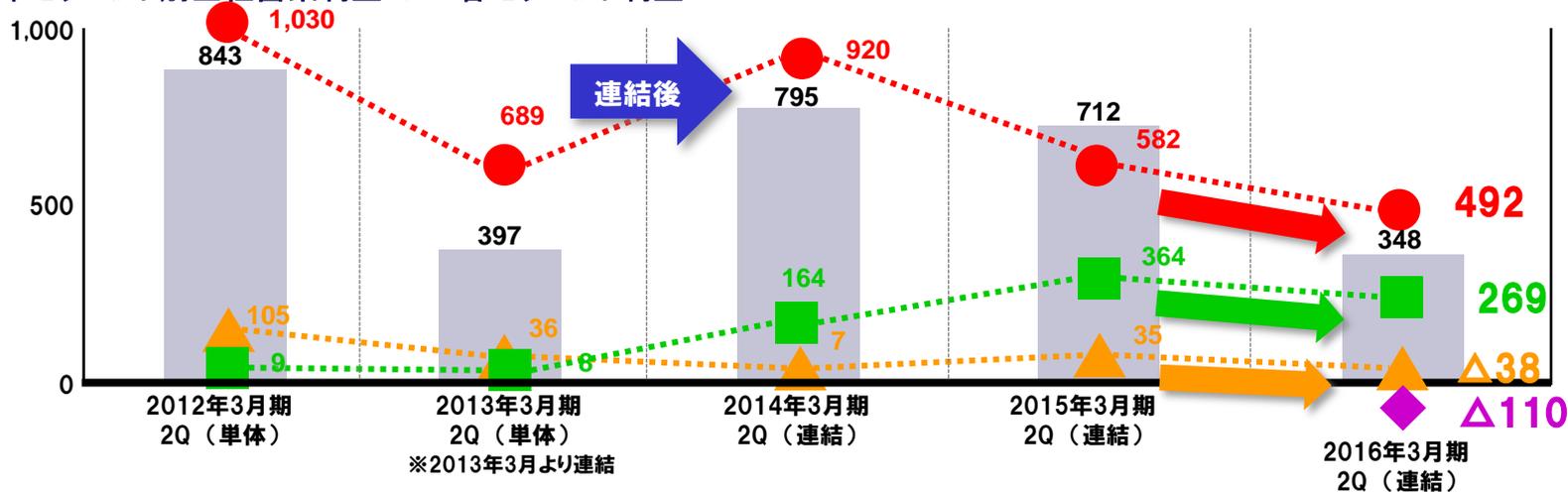
(単位:百万円)

- : 総合エンターテインメント事業
- ▲: 商業施設建築事業
- : 不動産事業
- ◆: 介護事業

5か年セグメント別全社売上高 / 各セグメント売上高



5か年セグメント別全社営業利益 / 各セグメント利益



# ジャンル別 既存店売上高／在客数 前年比月次推移

【売上高】 アミューズメント事業 既存店ジャンル別売上高 前年比月次推移 (アドアーズ運営店舗のみ)

	2015年 4月	2015年 5月	2015年 6月	2015年 7月	2015年 8月	2015年 9月
メダルゲーム	94.3%	95.0%	84.5%	93.8%	88.1%	96.6%
クレーンゲーム	105.7%	104.8%	107.2%	101.4%	101.0%	106.7%
その他	95.7%	100.1%	97.3%	102.8%	97.8%	99.8%
<b>計</b>	<b>97.8%</b>	<b>99.7%</b>	<b>95.3%</b>	<b>99.4%</b>	<b>95.7%</b>	<b>100.8%</b>

【在客数】 アミューズメント事業 既存店ジャンル別在客数 前年比月次推移 (アドアーズ運営店舗のみ)

	2015年 4月	2015年 5月	2015年 6月	2015年 7月	2015年 8月	2015年 9月
メダルゲーム	91.1%	97.7%	91.2%	93.2%	91.1%	94.7%
クレーンゲーム	107.3%	108.8%	112.0%	108.8%	105.9%	107.2%
その他	96.0%	99.5%	94.0%	93.8%	91.9%	86.6%
<b>計</b>	<b>92.0%</b>	<b>97.3%</b>	<b>93.0%</b>	<b>93.0%</b>	<b>90.4%</b>	<b>91.1%</b>

## 将来の見通しに関する注意事項

---

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性がありますことをご承知おきください。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。



当社に関する詳しい情報は、HPをご覧ください。

本資料の問い合わせ先 : アドアーズ株式会社 経営企画部 IR・広報担当 Tel :03-5843-8888  
E-Mail IR@adores.co.jp / URL <http://www.adores.co.jp/>